

令和7年産

仙台麦作情報

2025. 3. 31 第4号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>



今後の栽培管理のポイント

- (1) 適期追肥の実施 (2) 排水状況の確認 (3) 茎葉処理剤による雑草防除

1 気象経過 (10月第1半旬～3月第5半旬 仙台アメダス)

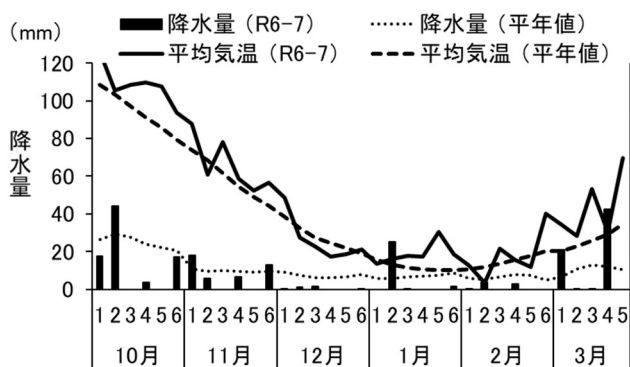


図1 半旬平均気温と降水量の推移

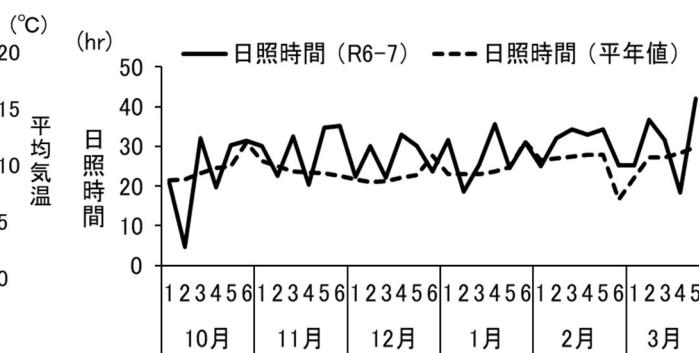


図2 半旬日照時間の推移

- ・気 温：12月第2半旬から第5半旬、2月上旬は平年より低くなりました。2月中旬以降は平年より高く推移しました。
- ・降 水 量：1月第2半旬以外は、12月から2月にかけて平年より少ない傾向でした。3月第1半旬と第4半旬は平年より多くなりました。
- ・日照時間：10月中旬以降平年並みか多く推移しました。特に2月は多い傾向でした。

2 大麦生育調査結果 (令和7年3月18日現在)

・仙台市 (ホワイトファイバー、シュンライ)

草丈は、平年比85%程度でやや短くなっています。茎数は、ホワイトファイバーが452.6本/m² (平年比53.4%)、シュンライが541.7本/m² (平年比64.1%)で平年よりも少なくなりました。ホワイトファイバーの幼穂長は3.1mm (平年差-0.7mm)、シュンライの幼穂長は4.2mm (平年差-0.4mm)となっており、茎立期に入っています。前回調査では、ハクチョウによる葉の食害が目立っていましたが、回復していました。

・大和町 (ホワイトファイバー、シュンライ)

草丈は、ホワイトファイバーが12.4cmと平年よりやや短く、シュンライは14.7cmでした。ホワイトファイバーは播種が遅れた影響で、茎数が314.9本/m²と平年より少なく、シュンライは539.6本/m²となっています。幼穂長は、ホワイトファイバーが0.8mmで、もうすぐ幼穂形成期に入ると見込まれ、シュンライが2.1mmで茎立期に入りました。

・生育ステージ予測については表 2 をご覧ください。

表 1 生育調査ほにおける生育調査結果（令和 7 年 3 月 18 日調査）

品種	ほ場	条間(cm)	播種日	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
				本年	平年比(%)	前年比(%)	本年	平年比(%)	前年比(%)	本年	平年差	前年差
ホワイトファイバー	仙台市宮城野区	25.3	10月14日	11.2	85.1	95.7	452.6	53.4	76.3	3.1	-0.7	-1.1
	大和町落合報恩寺	28.9	11月13日	11.2	80.0	84.8	314.9	25.3	18.0	0.8	-2.3	-3.0
シュンライ	仙台市宮城野区	26.4	10月14日	12.4	86.9	84.4	541.7	64.1	90.6	4.2	-0.4	-1.1
	大和町落合三ヶ内	30.3	10月25日	14.7	—	—	539.6	—	—	2.1	—	—

※平年値は 3 か年平均です。

※大和町ホワイトファイバーは令和 5 年産から調査を行っているため、平年値は 2 か年平均です。また、大和町シュンライは令和 7 年産から調査を行っているため、本年値のみです。

表 2 各ほ場における生育ステージ予測

品種	ほ場	減数分裂期	出穂期	開花期
ホワイトファイバー	仙台市宮城野区	4月12日	4月18日	4月27日
	大和町落合報恩寺	4月27日	5月3日	5月10日
シュンライ	仙台市宮城野区	4月9日	4月17日	4月25日
	大和町落合三ヶ内	4月20日	4月28日	5月3日

※現時点での予測値であるため、今後の天候によって前後することが考えられます。実際のほ場の状況を確認して適期管理を実施してください。



3 今後の栽培管理

大麦・小麦ともに、気温が平年に比べて高い傾向で推移しているため、生育が早いと予想されます。適宜生育ステージを確認し、各作業が遅れないようにしましょう。

(1)適期追肥の実施

★追肥量については表3（追肥の目安）をご覧ください。

【幼穂形成期の追肥】

- ・追肥時期：**幼穂長2～3mm**の時期
- ・麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。
- ・効果：**穂数の増加**

【減数分裂期の追肥】

- ・追肥時期：**幼穂長3cm**の時期
- ・適期に播種された大麦では、減数分裂期は4月10日前後と推測されますが、今後気温が平年よりも高くなると予想されるため、適宜生育ステージを確認しましょう。
- ・効果：**1穂粒数の増加、千粒重・容積重の向上**
- ・平年より穂数が多いほ場では、細麦にならないように減数分裂期の追肥を確実にいきましょう。

※減数分裂期から追肥時期が遅れると、硬質麦の原因となる恐れがあります。

表3 追肥の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長3cm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期	3月上～中旬	4月上～中旬	4月中～下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	硬質麦防止のため 実施しない
小麦	時期	3月下旬～4月上旬	4月下旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分5kg (硫安25kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)

※時期はおおよその目安です。実際にほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場でも、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

〔 **追肥量が多すぎると倒伏の原因となります。適期・適量施用に努めましょう。**〕

(2)排水状況の確認

- ・降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。「暗きよの再点検（閉じていないか）」、「明きよの手直し」を行いましょう。
- ・節間伸長期～出穂期に湿害が及ぼす影響→弱小分げつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化

(3)茎葉処理剤による雑草防除

- ・気温の上昇とともに雑草の発生が目立ってきています。麦の生育ステージを確認して除草剤が散布可能な場合は、雑草の発生状況に応じて薬剤散布を検討しましょう。
- ⇒使用可能な除草剤については下表を参照してください。

表4 麦類の使用可能な除草剤（令和7年3月26日現在）

薬 剤	作 物	適用雑草	10a当たり使用量 (散布液量)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
ハーモニーDF	小麦	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	5～10g (通常散布：50～100L) (少量散布：25～50L)	播種後～節間伸長前	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布
		一年生広葉雑草	3～10g (通常散布：50～100L) (少量散布：25～50L)	節間伸長開始期～穂ばらみ期 ただし収穫45日前まで		
MCPソーダ塩	麦類 (秋播)	一年生及び 多年生広葉雑草	200～300g (70～100L)	幼穂形成期 ただし収穫45日前まで		
エコパート フロアブル	小麦 (秋播)	一年生広葉雑草	50～100mL (100L)	小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期、 ヤエムグラ2～6節期) ただし収穫45日前まで	2回以内	

※最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

※農薬使用の際に飛散防止対策を講じたうえで、使用してください。

○1 か月予報（仙台管区气象台 令和7年3月27日発表）

★期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

向こう1か月(3月29日～4月28日)	暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みです。 また、低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。
1週目（3月29日～4月4日）	気温は平年並の確率が50%です。
2週目（4月5日～4月11日）	気温は平年に比べて高い確率が80%です。
3週目（4月12日～4月25日）	気温は平年に比べて高い確率が60%です。

■農作業安全対策

令和7年度重点推進テーマ「学ぼう！正しい安全知識～農業機械作業研修・熱中症対策研修の拡大と充実、未熟練農業者への研修実施～」

農作業事故の防止には、事故の発生状況や安全対策を「知る」ことが第一歩となります。今後、地域で開催される安全研修に積極的に参加し、具体的な行動の変化につなげましょう。